

米軍戦闘機・オスプレイ事故に抗議 ブロック全体で防衛局交渉 大平喜信衆議院議員・垣内京美比例二次候補を先頭に



高知沖での米軍戦闘機墜落事故、沖縄での空中給油中のオスプレイ墜落事故などを受けて、12月22日、中国5県から小選挙区予定候補、地方議員が揃って防衛局への抗議の申し入れを行いました。

この申し入れには、大平喜信衆議院議員と垣内京美比例中国ブロック予定候補が出席しました。(写真)

墜落した米軍戦闘機は岩国所属であり、さらに美保基地に配備される自衛隊の空中給油機はオスプレイにも給油可能なものです。中国地方全体が、米軍と自衛隊による「戦争する国づくり」の危険にさらされる重要な問題となっており、これとの戦いは緊急重大な課題となっています。

垣内候補 中国地方を駆けて「大運動成功」「議席増」を訴え

衆議院比例中国ブロック予定候補の垣内京美氏は、12月21日・22日と鳥取・島根・山口・広島各県委員会を訪れました。垣内氏は、集まった機関役員や支部の党員の皆さんに、安倍暴走政治ストップに向けて候補者としての決意を語り、「党大会決議案が提起する全ブロックでの議席増に向けて、党大会成功めざす大運動の飛躍を」と訴えました。(写真は広島県委員会での集会)



大平議員 高知の「奨学金を考えるつどい」で訴え



大平喜信衆議院議員は12月23日、高知で開催された「奨学金問題を考える若者たちのつどい」に出席し、学費・奨学金問題での国会論戦を報告しました。

集会では「700万円の奨学金をかかえることになる。返済を考え、採用が厳しい本来やりたかった進路をあきらめた。」などの声が出されました。(写真は「実態黒書」を受け取る大平議員と白川よう子比例四国予定候補)

大平議員は25日広島で2名の党員拡大。「大運動」合計16人に。さらに！！